

## 議 事 要 旨

【日 時】平成30年11月1日（木）18:30～20:10

【場 所】佐世保市中央保健福祉センター8階 講堂

【出席者】委員6名（※前村委員は欠席）

（事務局等）塚元保健福祉部長、辻保健福祉部次長、吉崎医療政策課長、井原医療政策課主幹、石岡主査

（佐世保市総合医療センター）田中事務部長、小村事務部次長、寺松経営企画課課長補佐、総務課 豊田主事

### ■議題1 佐世保市総合医療センター第1期中期目標の期間の終了時の検討に係る意見について

#### ◆評価委員会各委員のおもな質疑・意見

- 「優れた人材が集まる病院として」とあるが、現実的に集まっているのか。（安部委員）  
→ 臨床研修医の人数がかなり伸びてきている。（事務局）
- 優秀かどうかはわからないが、研修医が集まるということはそれだけ評価されていると考えてよいのではないか。毎年毎年研修医が評価するので、増えているということはそれだけ医療センターがかなり認められていると考えてよいのではないか。（武部委員）
- 研修医が増えたから優秀な人材が集まっているかどうかという直接関係はないが、それだけ集まるということは魅力的病院だから研修医が医療センターを希望するのであって、魅力的な病院だと思われるということと言えるかと思われる。（横山委員）
- 議題1の「佐世保市総合医療センター第1期中期目標の期間の終了時の検討に係る意見について」は、法人としての業務継続等の必要性を認識したうえで「意見なし」とさせていただきます市に提出する。（太田委員長）

### ■議題2 佐世保市総合医療センター第2期中期目標の策定に係る意見について

#### ◆評価委員会各委員のおもな質疑・意見

- 医療センターの目標が高度医療また、民間で受け負えないような政策医療を担うとなっている。一方で経常黒字を達成しなければいけないともなっている。経常黒字には数値的な目標があるのか。民間であれば、経常黒字を高めるためには、生産部門をカットしたり高価な医療機器の購入を抑えるなどして、黒字を上げることはできるが、黒字も出しながら高度な医療も提供するためには、バランスが必要で、その付近が悩みだろうと思うが、その辺の話を聞かせていただきたい。（安部委員）  
→ 経営上の目標は経常黒字としており、経常的なところで黒字になるようこれを目標としている。ただ、地方独立行政法人病院が大きく儲けを出すというのはいかがなものかと考える。なお、医療センターが政策医療で出た損失については、一定、市のルールはあるものの基本的には国の繰出基準に乗っ取って、補てんしている。（事務局）
- がん医療について、手術、放射線、薬物療法、化学療法とある。今ノーベル賞で話題となっている免疫療法について、これから3年間（中期目標が）あり、免疫療法がどうなるかはわからないが、ここに記載しなくて良いのか。（太田委員長）  
→ 抗がん剤療法の中の一つの要素なので、この薬物療法の中に入っているという考え方でよいと思う。（医療センター）
- 免疫療法はがん治療においては、第4の治療法といわれているようだが、免疫が薬物というのはちょっと違う感じはするが、それはそれで入っているということにしましょうか。（太田委員長）
- 4ページでは「医師や看護師をはじめ優れた人材の確保に努める・・・」となっているが、3Pでは、「看護師・薬剤師をはじめとする・・・」とここでは「薬剤師」が入っている。3Pと4Pが違って良いのか、4Pから「薬剤師」を削除するかあった方がいいのか。もちろん薬剤師以外にも理学療法士とかいろいろ医療技術者はいるのだが、3ページと4ページが違うのがちょっとどうかなと感じる。（太田委員長）

- 3ページでは、あえて意識して薬剤師のみを書き立てているのではない。基本的にいろんな資格取得といった時に、薬剤師は資格取得をされるので、そうしたところに重きを置いて「薬剤師」を書き立てていると思われる。そろえた方が良いのかどうか……。(事務局)
- 薬剤師は仕事をしていて何か新たに資格を取得するということはあるのか。(太田委員長)
  - ある。(事務局)
- 5Pに「収益と費用の適正化」とあるが、今が適正ではないという印象を与えるがいかがか。
  - 医療の質等も考慮すると、あまり利益主義に走って儲け過ぎというのも問題であることから、「適正」という言葉を用いている。
- どういう表現にしていのが難しいが、この表現では、今が儲け過ぎとか赤字だとかそういう印象を受けるので、何かいい表現がないか。(太田委員長)
- 「適正な」という言葉を抜いてはいかがか。(横山委員)
- そこはちょっとご検討いただければと思う。(太田委員長)
- 総合医療センターの看護師や薬剤師は不足しているのか。(安部委員)
  - 非常に不足して足りない状況である。(事務局)
- 資料の2の各指標で見方がよくわからないところがある。実績値と目標値の考え方はどうなっているのか。②の数値はどこから来るのか。(宮地委員)
  - そもそも最初に、向こう3年間の目標を作るが②の数値はその当初に定めた3年後の数値である。なお、これとは別に毎年度立てる目標値もあることから、2種類の目標値が存在することになる。(事務局)
- 本日出された意見のうち、検討事項については、事務局に検討していただき、変更する場合には私と事務局で調整して最終案にさせていただくということで、おまかせいただいてよろしいか。(太田委員長)
- 異議なし。(各委員)